Creative Enzymes®

ラムダプロテインホスファターゼ (GST)、組換え

Cat. No. NATE-0856

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	プロテインホスファターゼ1Fは、ヒトにおいてPPM1F遺伝子によってコードされる酵素です。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、PP2Cファミリーのメンバーです。PP2Cファミリーのメンバーは、細胞ストレス□答□路の負の調節因子として知られています。このホスファターゼは、Rhoグアニンヌクレオチド交換因子（PIX）と相互作用し、Rho GTPaseの下流で生物学的効果を媒介するプロテインキナーゼであるp21活性化キナーゼ1（PAK）の効果をブロックすることができます。カルシウム/カルモジュリン依存性プロテインキナーゼIIガンマ（CAMK2G/CAMK-II）は、このホスファターゼの基質の一つであることがわかっています。このホスファターゼまたはCAMK2Gの過剰発現は、カスパーゼ依存性アポトーシスを媒介することが示されています。代替スプライシングされた転写産物のバリアントが同定されていますが、その完全長の性質はまだ決定されていません。
用途	ホスファターゼアッセイ
別名	プロテインホスファターゼ 1F; PPM1F; CAMKP; CaMKPase; FEM-2; POPX2; hFEM-2; ラムダプロテインホスファターゼ; λ-Ppase

製品情報

由来	大腸菌
純度	グルタチオンアガロース親和クロマトグラフィー

保管・発送情報

保存方法	-70°Cで6ヶ月